

令和2年10月9日

荒川区長

西川 太一郎 様

自由民主党荒川区議会議員団

鎌田 理光 町田 高 中島 義夫 菅谷 元昭
明戸真弓美 茂木 弘 並木 一元 齋藤 泰紀
北城 貞治 志村 博司

新型コロナウイルス対策に関する緊急要望（第7次要望）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、未だ収束の見込みが立っておらず、都内では、医療機関や福祉施設における小規模なクラスターの発生が複数報告されています。これまで我が団は、区内における感染拡大防止を最優先事項として、6次にわたり緊急要望を提出し、区ではそれを真摯に受け止め、PCR検査の充実や区内医療機関、介護施設等への感染防止対策の支援をはじめ、各分野における必要な対策を着実に実施してきたことを高く評価しています。

新型コロナウイルス感染症の影響が中長期にわたることが想定される中で、インフルエンザとの同時流行も懸念されています。こうした状況において、重症化リスクが高いとされている高齢者や障がい者等の生活を支える基盤である福祉施設や区民の健康を守る役割を担う医療機関における感染拡大防止対策の強化・充実は、必要不可欠であります。限られた財源の中で、国・都の役割を踏まえ、十分連携を図りながら、更に効果的な対策を速やかに実施するよう、改めて要望いたします。

記

- 1 PCR検査費用に関する国・都の助成制度等と十分連携を図りつつ、福祉関係の職員や重症化リスクが高い高齢者等が円滑にPCR検査を受けられる仕組みを整えること。
- 2 唾液を使ったPCR検査が普及してきた状況を踏まえ、PCR検査体制について適宜見直しを図ること。
- 3 インフルエンザの流行に備えて国が進める「診療・検査医療機関」の指定を受けた医療機関に対する新たな支援制度を創設すること。
- 4 これまで広く支給してきた医療従事者に対する危険手当について、制度創設時との状況の変化を踏まえ、より実態に即した制度に見直しを行うこと。